

災害名〔市区町村記入欄〕

東日本大震災

機械で読み取るため楷書で丁寧に記入して下さい。

記入例

都道府県センター受付欄

別紙様式第7号

被災者生活再建支援金支給申請書

【同意事項】罹災証明書の被害程度が変更された場合、既に出されていた支給決定が取消又は変更されることに伴う差額を返還します。

始めて申請する場合は「初回」に○、
2回目以降の申請は「2回目以降」に○をし、
初回の支給通知書に記載された支給番号を記入。
(支給番号が不明な場合は記入不要)

申請日 令和 ○年 ○月 ○日

生活再建支援金の支給を申請します。

申請者氏名 富岡 太郎

申請回数〔支給番号〕

初回

2回目
以降

世帯主以外の方が申請する場合はその理由及び世帯主との関係:

世帯主の○○が平成○年に死亡(世帯主との関係:子)

I 被災時の世帯の状況について

①被災時の世帯主情報

平成23年3月11日時点の世帯が基準となる為、
被災当時の世帯主の氏名、生年月日等を記入して下さい。

ふりがな	とみおか たろう	生年月日	性別
氏名	富岡 太郎	大・昭 平・令 ○年 ○月 ○日	男 女
世帯主個人番号	世帯主の個人番号記入不要。※初回申請:被災時の世帯全員の住民票添付。		

②被災した住宅の住所(被災住所:集合住宅の場合は、物件名、部屋番号まで正確に記入)

〒 979-1100

富岡町大字○○字○○1番地の2

※被災当時の住所を記入。(居住していた住所)
「大字」「字」「番地」「物件名・部屋番号」は省略せず記入。

③被災時の世帯員情報(初回申請は必ず記入、2回目以降申請は記入不要)7人以上の場合は備考欄へ記入して下さい。

1	ふりがな	とみおか はなこ	生年月日	4
		富岡 花子	大・昭 平・令 年 月 日	
2	ふりがな	とみおか いちろう	生年月日	5
		富岡 一郎	大・昭 平・令 年 月 日	
3	ふりがな	とみおか さくらこ	生年月日	6
		富岡 桜子	大・昭 平・令 年 月 日	

被災当時(平成23年3月11日時点)の世帯が基準となります。
被災後に死亡、転出、改姓、世帯分離等で世帯状況に変更があった場合も被災当時の世帯員全員(世帯主以外)を記入。
※世帯員が7名以上の場合は裏面「備考欄」へ氏名(ふりがな)、生年月日を記入。

※世帯員とは、世帯主と住宅及び生計を1つにする世帯主以外の方をいいます。

II 被災時世帯主の支援金の振込先口座を

事前登録済の「公金受取口座を利用しない」または「公金受取
口座を登録していない」場合は、☒しない。

□事前登録済の公金受取口座を利用する

金融機関名	支店名等	種別	口座番号
○○銀行	○○支店	普通	1 2 3 4 5 6
ゆうちょ銀行	記号		番号
口座名義(カナ)	ト ミ オ カ タ ロ ウ	姓と名の間はスペースを空け、濁点は1文字として記入。(申請者の口座に限る)	

口座名義が世帯主と異なる場合(被災時同一世帯員に限る)はその理由を記入してください。(前回と同じ名義の場合は記入不要)

また、世帯主以外の同一世帯員が公金受取口座を利用する場合は口座名義人個人番号を記入してください。

理由	世帯主の○○が平成○年に死亡	※2回目以降の申請時に変更の場合は 世帯主の死亡確認ができる書類(住民票除票等)を添付。
口座名義人個人番号		場合は、①で個人番号を記入してください。

申請者が被災当時の世帯主以外の場合、理由を記入。(世帯主死亡以外の場合「委任状」を添付)

被災当時の世帯主以外の申請は当時の同一世帯員のみ。※被災当時、別世帯員の受取は親族(相続者)であっても対象外。

Ⅲ 被災世帯の現在の住所等を記入して下さい。(集合世帯)

現在の住所	□被災住所と同じ 〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇1丁目23番地の4
電話番号	090 (1234) 5678

郵便物が受け取れる住所、日中連絡がとれる電話番号を記入。

※物件名、部屋番号は省略せず記入。

※都道府県センターから支給通知書が送付される住所。

※申請内容の確認、追加書類があった際、役場担当と連絡がとれる電話番号。

Ⅳ (1) 申請する基礎支援金について該当する金額を○で囲み、申請額を記入して下さい。

(初めて申請される方は必ず記入してください。2回目以降は、特に必要がない限り空欄のままで結構です。なお、中規模半壊で初めて申請される場合には、(2)に記入してください。)

区 分	今回申請(A)		受給済(B)	
	複数世帯	単数世帯	複数世帯	単数世帯
全壊	100 万円	75 万円		
半壊解体	100 万円	75 万円		
敷地被害解体				
長期避難				
大規模半壊	50 万円	37.5 万円	50 万円	37.5 万円

半壊解体・敷地被害解体の場合はその理由：

補修費等が高額になるため

半壊解体、解体差額で申請する場合は、理由を記入例の通り記入。

東日本大震災は区分対象外

申請額(A-B)：

100 万円

(2) 申請する加算支援金について該当する金額を○で囲み、申請額を記入して下さい。

区 分	今回申請(C)		受給済
	複数世帯	単数世帯	複数世帯
建設・購入	200 万円	150 万円	
補修	100 万円	75 万円	
賃借	50 万円	37.5 万円	50 万円
※公営住宅入居者除く			
中規模半壊			18.75 万円

【基礎支援金 添付書類】

り災証明書写し、通帳写し、住民票(本籍、続柄を表記)

※住民票は平成23年3月11日時点の世帯全員分が必要(原本)

※被災家屋が賃貸の場合、居住者の方が「り災証明書」を交付

【加算支援金 添付書類】

再建住宅の契約書写し

→建物所在地、金額、面積、工期、契約日、双方の署名・押印

登記簿写し(建設・購入の場合、登記日、登記者を確認)

※契約者、現住所と契約建物所在地が異なる場合、追加書類が必要となるため、詳細は役場担当課まで連絡願います。

※申請時、公営住宅入居、老人ホーム等の施設入所時は対象外

東日本大震災は区分対象外

200 万円

注)それぞれの支援金に該当する世帯は、それぞれ異なる支給額になります。ご了承ください。

該当する場合のみ申請者が「市町村欄」に以下の内容を記入して下さい。

※7名以上の世帯で被災した場合(表面I-③に書ききれない場合)

→世帯員の氏名(ふりがな)、生年月日を記入

※加算支援金の申請で再建先と支給通知書の送付先が異なる場合

→通知書送付先住所(〇〇様方等記入)、通知書の送付先が異なる理由(高齢により郵便物の管理が困難なため等)を記入。

添付書類確認欄

罹災証明書

備考欄

その他添付書類・申し送り事項等

市区町村

被災当時の世帯状況、再建方法(建設・購入、賃貸、補修)により必要書類が異なります。

不明な点がございましたら申請前に役場担当課まで連絡願います。

※住登外(被災当時、富岡町に住民票を有していない方)、住民票と異なる住所へ居住していた方、敷地内別棟に居住(同一世帯員が分かれて居住)の場合は「居住証明」に関する書類を事前に取り寄せていただきます。

※再建住宅の契約が被災当時の別世帯の方、現住所と契約書の建物所在地の地番等が異なる場合は別途書類が必要となります。(区画整理等で契約後に地番変更、契約時は地番が確定していなかった場合)

担当部署 富岡町生活環境課

【問合せ先】 富岡町役場 生活環境課消防交通係 TEL:0240-22-2111(代)

〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1